



NHO Shibukawa Medical Center

ウイズ

No.117

令和7年4月(2025年)

編集発行

独立行政法人国立病院機構

渋川医療センター

電話 0279-23-1010(代)

FAX 0279-23-1011

[E-mail] 207-ShibukawaMC_mb@mai.hosp.go.jp

[ホームページ] <https://shibukawa.hosp.go.jp>

渋川医療センター

広報誌



令和7年度新採用者・異動者および幹部職員



◀ 基本理念 ▶

北毛地域の基幹病院として地域の医療機関と連携し、
その役割を果たします

◀ 基本方針 ▶

- 患者さんの気持ちに寄り添った医療を実践します
- 十分な情報を提供し、共に考える医療を行います
- がん・呼吸器疾患・重症心身障害児(者)の専門病院として社会に貢献します
- 地域医療支援病院として、救急医療を含め地域の医療機関と連携し地域医療に貢献します
- 生命の尊さと人権を尊重し、安全な医療を提供します
- 教育・研究事業に積極的に取り組み、質の高い医療を常に目指します
- 良質な医療を継続的に確保するため、健全な経営と適正な運営に努めます

【 目 次 】

令和7年4月1日付辞令交付式について	1
病院の安全を守るために～さすまた講習会を開催して～	2
令和6年度災害対応訓練・関東ブロックDMAT訓練について	3
パープルデー(てんかん啓発の日)ライトアップを行いました	4
職場紹介	
療育指導室	5
認定看護師紹介	
がん性疼痛看護認定看護師	6
シリーズ	
●患者さんにとって耳よりな情報 ウォーキングについて知ろう	7
「考え」への働きかけ～より良い人生に変えてみませんか～	8
●外来診療担当医表	9
●セカンドオピニオン担当医表	11
●患者さんの権利	11
●看護の理念、看護の基本方針	11
●編集後記	11

令和7年4月1日付辞令交付式について

給与係長 市東 敬裕

春は動物たちも冬眠から目覚め、不思議と活力が湧き、新たな始まりを象徴する季節です。世の中では物価高騰など様々なことが起こっていますが、いつも通り季節だけは巡り、いつの間にか花の便りに心を躍らせる季節になったことを実感しております。

そんな中、山の頂にはうっすらと雪化粧が残っていましたが、今年度も当院では院内外の人事異動、昇任、新採用職員など106名を対象に辞令交付式を行いました。

式においては、一人ひとりが院長から辞令を受け取り、各々が新たな環境における役割を受け止める場になったと感じています。また、辞令を受け取るその歩みには、各々の心情が表れているようでした。新たに社会人となり期待に胸を膨らませ歩を進める方や、不安でゆっくりと歩を進める方、人事異動を受け新たな環境を確かめるように歩を進める方、昇任を受け自信を持って堂々と歩を進める方、そんな思いを肌で感じました。

私自身も現在の係となって今年度が2年目となります。この辞令交付式を通して改めて初心を忘れず、業務に対しては怠慢にならないよう厳しく、人には優しい気持ちを持って向き合おうという気持ちにさせていただきました。ですが、身が引き締まるという意味では、この式において辞令を受け取り新たな一歩を踏み出した職員の方が環境の変化など新たなスタートの節目ということもあり、私よりも更にそのような感情が芽生えていたのではないかでしょうか。

このように、辞令交付式は新たに職員になった者にとっては新しい環境での挑戦への決意、在職している職員にとっては自身の役割や業務に対する向き合い方を再認識できた良い場になったと感じております。

最後になりますが、新たな職員を迎える、地域の皆さんに成長していく渋川医療センターを1年経つごとに常に感じていただけるよう、患者さんの気持ちに寄り添った安心・安全、そして優しい医療の提供を目指していきますのでどうぞよろしくお願ひいたします。



高橋院長からの吉成特命副院長への辞令交付



高橋院長の挨拶



病院の安全を守るために ～さすまた講習会を開催して～

経理係長(前 庶務係長) 佐藤 慶太郎



凶器を持つ不審者等の対応に関する講習会を、院内職員向けに実施いたしました。講習会には33名が参加し、警察官OBである当院の保安業務員から、さすまたの使い方や不審者に対峙した時の心構えなどを学びました。

犯人役となった職員をさすまたを使用して押さえつける訓練も実施いたしました。私自身も不審者役として講習会に参加し、実技演習では何度も押さえつけられました。

警察への通報を行うと10分以内には必ず警察官が駆け付けるそうです。この講習で講師より、「最も大切なのは暴漢を確保することではなく、警察が来るまでの10分間の安全確保が第一」と教わりました。皆さんにも、是非参考にしていただきたいと思います。



当院では、院内の患者さんや病院スタッフの安全確保に万全を尽くすため、今後も定期的な職員向け講習の実施や各種防犯対策により、安心・安全な病院運営に努めてまいります。



令和6年度災害対応訓練・ 関東ブロック DMAT 訓練について

院内訓練責任者 救急診療科部長・循環器内科医長 山岸 敏治

令和7年3月1日、令和6年度の渋川医療センター災害対応訓練を関東ブロックDMAT（災害派遣医療チーム）訓練に合わせて行いました。関東ブロックDMAT訓練とは、関東1都6県が回り持ちで行うDMATの大規模訓練で、令和6年度は群馬県が幹事で、群馬県全体を舞台に訓練が行われました。DMATは各都県からおよそ130隊が参加し、訓練参加者は関東全体で1000人を超えるました。

今回の災害想定はこれまでにも院内災害対応訓練で行ってきた「関東平野北西縁断層帯による直下型地震」で、最大震度は群馬県南部で7、渋川で6弱で、北毛地区はほとんど被災がないものの、西毛・県央地区で多数の傷病者が発生するという想定となりました。当院にはこれまで訓練してきた通り『災害対策本部』を立ち上げ、それとともに県からの指示で県南部からの多数傷病者の受け入れ・搬送拠点として『北毛医療圏 DMAT活動拠点本部』が設置されました。院内災害対策本部訓練では搬送されてくる多数傷病者をできるだけ受け入れられるように体制を整える訓練が行われ、活動拠点本部では被災地域の傷病者発生状況の情報収集、DMATが持つ救急車などの搬送手段の準備、当院で受け入れきれない傷病者の搬送先の確保などの訓練が行われました。さらに、渋川保健福祉事務所が当院に『保健医療福祉調整本部』を設置し、避難所の情報収集など地域医療を検討するための『地域災害医療対策会議』を保健福祉事務所、消防、当院で開催しました。

非常に盛り沢山の訓練を1日で行いましたが、災害時はたくさんの施設・機関が協力して対策していくことが必要であり、現実的な活動イメージができる訓練になったと思います。DMAT隊員も災害拠点病院・DMAT指定医療機関としての使命を改めて確認し、自分の役割を自覚できたように思います。日本は自然災害の多い国ですので、これからも訓練を重ね、いざという時に頼れる病院を目指したいと思います。



活動拠点本部の様子



院内災害対策本部の様子

パープルデー(てんかん啓発の日) ライトアップを行いました

経営企画係長 小湊 憲一郎

昨年に引き続きまして、3月24日（月）から26日（水）の3日間にわたり、渋川市と共同で「パープルデー」（てんかん啓発の日）の関連イベントとして、渋川市内の伊香保温泉石段街だんだん広場で18時から20時頃までライトアップを実施しました。

「パープルデー」とは、毎年3月26日に行われている世界的なてんかん啓発の日です。てんかん患者である当時9歳の少女がカナダで始めたイベントで、「てんかんを持つ人を一人ぼっちにしない」という思いを込めて「紫色のもの」を身に着けて、てんかん患者さんを応援する活動です。

てんかんは脳が一時的に過剰に興奮することで、意識消失やけいれんなどのてんかん発作を繰り返し引き起こす病気のことです。人口100人あたり1人前後の患者さんがいると言われています。当院ではパープルデーに賛同し、楽しみながらてんかんへの理解を深めてもらう活動を行うとともに、てんかん患者さんへの応援のメッセージとしてライトアップを行っています。また、院内ではてんかん支援拠点病院としての役割を紹介するパネルの掲示も行いました。

当日は写真の通り、「IKAHO型オブジェ」の背景に石段が紫色にライトアップされ、温泉街の中で幻想的に浮かび上がっているところが印象的でした。また、当日は観光客など多くの方が立ち止まって写真撮影されるなど興味を持って見ておられました。これをきっかけに、てんかんについて楽しみながら、多くの人が知識を得るとともに、理解を深めて頂ければと思います。

当院では2021年7月に群馬県のてんかん支援拠点病院に選定され、2022年4月1日から、複数の診療科、多職種による集学的診療を行うてんかんセンターとして活動を開始しております。てんかん専門医、てんかん診療支援コーディネーターを中心に診療を行っておりますので、今後ともご支援賜りますようお願い申し上げます。



職場紹介

療育指導室

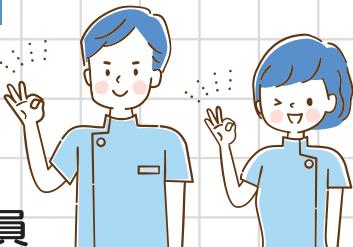
療育指導室長 山寄 利絃

療育指導室は、児童指導員2名と保育士7名、事務助手1名で構成された部署で、重度の知的障害と身体障害を重複された方々が入所する重症心身障害病棟で業務を行っています。

私たちの部署が業務する重症心身障害病棟は、病院機能の中で運営する障害福祉サービスとして事業を展開しています。そのため、長期間にわたって入所されている方も多く、お子さんから大人まで幅広い年齢層の方が入所されています。医療の提供だけでなく生活の場として入所する方の生活を支えることが大切な機能になっています。

そのような中で、療育指導室の職員は、福祉的な視点で相談支援業務や療育活動の提供等を展開し、入所者の生活を支える役割を担っています。児童指導員、保育士、事務助手がそれぞれの専門的な強みを相補的に活かし業務を行っていることも特徴です。これからも重症心身障害の方々やそのご家族の皆さんに寄り添い、充実した生活が送れるよう全力でサポートしていきたいと思います。何かお困りな事がございましたらいつでもご相談ください。

職種紹介



児童指導員

児童指導員は、入退所に関する調整、入所者や在宅で生活されている方々とそのご家族に向けた相談支援やケースマネジメント、障害福祉サービス遂行に向けた院内外の調整業務、虐待防止等の権利擁護遂行に向けた業務を担っています。



保育士

療育プログラムの計画と実践による発達支援、季節の行事や外出支援の企画運営等を担い、入所者一人ひとりの生活の充実に向けた活動の機会を提供しています。

業務内容の紹介（一部）



相談支援・ケースマネジメント業務

利用者の皆さんやご家族が生活を送る上での困り事や悩みを傾聴し、院内のみならず院外の関係者と連携しながら、相談に応じています。



療育活動

入所者一人ひとりの特性やニーズを踏まえ、運動や創作活動、音楽活動、感覚活動など集団や個別で活動を組み立て実践しています。利用者の方から表出される表情や動きを捉え、生活の充実を図っています。

がん性疼痛看護認定看護師

がん性疼痛看護認定看護師

奥澤 直美



がん性疼痛看護認定看護師は、がんの痛みやつらい症状を緩和するための薬剤の知識と技術を持ち、患者さんやご家族の身体と気持ち、生活での痛みやつらさなどに寄り添い、痛みのケアを行います。

多くのがん患者さんは、「痛みがなく過ごしたい」と希望されています。がんによる痛みは、がんと診断を受けたときにおよそ20-50%、進行したがん患者さんでは全体の70-80%と言われ、つらい症状の

一つです。がんによる痛みがあると、身体のつらさだけではなく、「眠れなくなる」「食欲が落ちる」「自分でしたいことができなくなる」など、いつもの生活が困難になったり、「病気や治療に対する不安が強くなる」など、気持ちのつらさにもつながります。がんによる痛みは、治療できる症状です。治療には、医療用麻薬などの鎮痛薬を使用しますが、医療用麻薬と言われると不安を感じる患者さんやご家族がいます。

私は、緩和ケアチームのメンバーの一人として、がん治療の経過の中で生じる身体のつらさ、気持ちのつらさ、生活上のつらさを抱えた入院中の患者さんやご家族をあらゆる面で支えていく治療やケアを行っています。また、外来ではがん看護外来のメンバーの一人として、がん患者さんやご家族の相談事や心配事などの支援を行っています。心配事や相談事には「がんと言われてどうしたらしいのかわからない」「がんの治療に不安がある」「医療用麻薬はやっぱり心配」「痛み止め以外に方法はあるか」「家族でできることはあるか」などがあります。当院の専門看護師、認定看護師が作成したりーフレットなどを用いて、様々な心配事や相談事に対応しています。がんの痛みやつらい症状などでお困りのときには、看護外来へご相談ください。

今後も、がん性疼痛看護認定看護師として、がん患者さんやご家族の痛みに寄り添い、安心して痛みの治療が受けられるよう、また、痛みと上手く付き合っていくよう支援していきます。





患者さんにとって耳よりな情報



ウォーキングについて知ろう

理学療法士 吉田 裕之

令和7年も気づけば三か月が過ぎ、緑葉や色鮮やかな花々が春の訪れを告げ始めました。暖かくなり、健康のために散歩を始める人も多いのではないでしょうか。

本日は耳寄りな情報として「効果的なウォーキング」についてお伝えしたいと思います。

ウォーキングの効果

①心肺機能が向上

血液循環がスムーズになり、高血圧や心疾患、脳血管疾患のリスクを減らすことができます。

②筋力と体力の向上

足腰の筋肉が鍛えられ、転倒を予防し、生活機能の維持に役立ちます。歩く量が少ないと、2日で1歳年を取ると言われています。

③ストレス解消

適度な有酸素運動により、ストレスホルモンを減らし、幸福ホルモンを増やします。



Q

いつ歩く?どれくらい歩く?どんな速度で?

いつ歩くか

A

いつ歩いても大丈夫ですが、食後か寝る前がいいと言われています。食後に歩くと血糖値の上昇が抑えられ、寝る前であれば脂肪燃焼に効果があります。

どれくらい歩くか

A

生活機能を落とさないために必要なウォーキングの歩数は7000歩と言われます。また、ダイエットを目的にするなら20分以上歩くことで脂肪燃焼効果があります。

どんな速度で歩くか

A

背筋を伸ばして、しっかり前を向くと効果的です。速度は「やや早歩き(息が少し弾む)」くらいがおすすめです。



健康のために運動を続けるのはとても大変ですが、目標を決めて始めてみましょう。運動のためのかっこいい服を着るのもおススメです。無理しないのが一番のコツですよ。

「考え」への働きかけ ～より良い人生に変えてみませんか～

患者相談支援センター 医療福祉相談室 ソーシャルワーカー 高橋 真也

皆さん、ある出来事に対して、反射的に浮かぶ考え方や感情に悩まされたことはありませんか。

例えば、家族の何気ない一言にイライラしたり、友達との会話中に嫌な思いをしたりと、人とのコミュニケーションにおいて、心がつらくなる経験は、皆さん一度はされているかと思います。その出来事に対して必要以上に悩んでしまうと、日常生活を灰色の眼鏡で見ている気分にもなりますよね。

灰色に染められた日常生活に彩りを与えるたいと思ったとき、皆さんならどうしますか。

ノーベル平和賞を受賞したマザー・テレサさんは「思考に気をつけなさい、それはいつか言葉になるから。言葉に気をつけなさい、それはいつか行動になるから。行動に気をつけなさい、それはいつか習慣になるから。習慣に気をつけなさい、それはいつか人格になるから。人格に気をつけなさい、それはいつか運命になるから。」と語りました。

本当にその通りではないでしょうか。私たちが生きているこの世界は、自らがどのような眼鏡をかけ、見ているかによって、大きく変わります。

認知行動療法の創始者アーロン・ベックさんは、ある出来事を体験したとき、頭に自然と浮かんでくる考え方やイメージがあることに気がつきました。これを“自動思考”と言い、考え方を変えるためには、自らの自動思考を知り、他の考え方へ変えていく必要があります。そして、自動思考を知るためには、ある出来事に対して、感情の変化を感じたときに「今、私の頭には何が浮かんだのだろうか？」と自らに問いかけることが大切です。このように、自らの「考え」と向き合うことは、“私”をより深く知ることにつながります。また、それは“私にとってのより良い人生とは”を明らかにするための一助となります。

「病気にかかり退職を迫られている」、「介護の負担がつらい」などの考え方を変えて、取り除けない悩みを抱えている方は、医療福祉相談室や、適切な専門機関へご相談ください。

ある出来事に対して、“どの考え方を選び、行動するか”は皆さん次第です。皆さんのが日常生活で起るさまざまな困難に対処し、より良い人生を過ごすことができるよう心から願っております。




渋川医療センター 外来診療担当医表
(令和7年4月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金	
一般内科	午前 (予約)				モリ 森 カズヨ 一世		
	午前				カワシマ 川島 チエコ 智恵子		
循環器内科	午前	ナカノ 中野 孝英(北関) (第1,3,5週) ヤマギシ 山岸 敏治 (第2,4週)	マツオ 松尾 弥枝(北関) (第1,3,5週) イワサキ 岩崎 俊弥(北関) (第2,4週)	ヤマギシ 山岸 敏治 (第1,3,5週)(予約制) クリバラ 栗原 淳(心血セ) (第2,4週)		ヤマギシ 山岸 トシハル 敏治	
	午後				ナカシマ 中島 グニギ 邦喜(北関) (第2週) ツボイ 坪井 エイトシ 栄俊(北関) (第4週)		
脳神経内科	午後		クロサワ 黒澤 リョウジ(太記)			ミチザキ 道崎 ヒトミ 瞳(群大)	
呼吸器内科	午前	オオサキ 大崎 隆	ミヤシタ 宮下 晃汰(群大)	クワコ 桑子 智人	シン 申 ユウ樹 悠樹	クワコ 桑子 トモヒト 智人	
	午前	ヨシイ 吉井 明弘	ムラタ 村田 圭祐	ツチヤ 土屋 友規子	サクライ 櫻井 麗子(群大)	ワタナベ 渡邊 サトル 覚	
	午前	サイトウ 斎藤 龍生	スナガ 砂長 則明(群大)	サメトワ 斎藤 龍生	オオサキ 大崎 タカン 隆	ヨシイ 吉井 アキヒロ 明弘	
	午前		マスダ 増田 友美(群大)				
	午前から 14時迄	オチアイ 落合 麻衣	オチアイ 落合 麻衣	オチアイ 落合 麻衣		オチアイ 落合 麻衣	
	午前				新井 史人		
	午前		トヨダ 豊田 正昂(群大)		クロイワ 黒岩 ユウヤ 裕也(群大)		
内分泌・代謝内科	午前				ショウダ 正田 純史	シミズ 清水 トモヒコ 智彦	
	午後	シミズ 清水 智彦	ショウダ 正田 純史 (14:00~)	ヤマダ 山田 マサノブ 正信(群大) (第1週 14:00~)		ヤマダ 山田 マサノブ 正信(群大) (第3週 14:00~)	
	午後			シミズ 清水 智彦			
小児科	重心のみ・ 予約制	午後		イノウエ 井上 文孝(重心)			
	小児神経 (てんかん) 予約制	午後			イダ 井田 久仁子 (小児神経)		
	午後	イダ 井田 久仁子 (小児神経)					
血液内科	午前			ヨシザワ 吉澤 リョウ 遼			
	午後 (予約)			ヤケギリヤ 柳澤 邦雄(深谷赤十字) (第2週)			
	午前	カナヤ 金谷 秀平	イリウチシマ 入内島 裕乃	マツモト 松本 モリオ 守生	マツモト 松本 モリオ 守生	ミハラ 三原 マサヒロ 正大	
	午前	サイトウ 斎藤 明生	ミハラ 三原 正大	イリウチシマ 入内島 裕乃	イソダ 磯田 アツシ 淳	サイトウ 斎藤 アキオ 明生	
	午前	イリウチシマ 入内島 裕乃		カナヤ 金谷 秀平	イリウチシマ 入内島 ヒロノ 裕乃	オオサキ 大崎 ヨウヘイ 洋平(群大)	
消化器内科	午後		サワムラ 澤村 守夫				
	午前	ナカジマ 中島 良実	サトウ 佐藤 ヒロコ	ヤマザキ 山崎 ユウイチ 勇一(群大)	ムラカミ 村上 タツマ 立眞(群大)	ナルセ 成瀬 トモヤス 智康	
	午前	キムラ 木村 有宏	スガ 須賀 タカヨシ 孝慶	ヒロカワ 廣川 トモヨシ 朋之	ナガシマ 長島 タモリ 多聞	スズキ 鈴木 ヒデヨシ 秀行(原町日赤)	
緩和ケア科 (予約制)	午後	コバヤシ 小林 剛		ホシノ 星野 シゲヤ 隼矢	コバヤシ 小林 ゴウ 剛	ホシノ 星野 ショウヤ 隼矢	
精神腫瘍科 (予約制)	午後	マジマ 間島 竹彦	マジマ 間島 タケヒコ 竹彦		マジマ 間島 タケヒコ 竹彦		
放射線治療科 (予約制)	午前	マツウラ 松浦 マサナ 正名 カミツマ 神沼 タクヤ 拓也 クワコ 桑子 ケイコ 慧子	カミツマ 神沼 マツウラ 松浦 タクヤ 拓也 マサナ 正名 ナカムラ 中村 ユウジ 勇司 ケイコ 慧子 マツウラ 桑子 タクヤ 拓也 マサナ 正名	カミツマ 神沼 クワコ 桑子 タクヤ 拓也 ケイコ 慧子 マツウラ 中村 ユウジ 勇司	カミツマ 神沼 クワコ 桑子 タクヤ 拓也 ケイコ 慧子 マツウラ 松浦 タクヤ 拓也 マサナ 正名	カミツマ 神沼 クワコ 桑子 タクヤ 拓也 ケイコ 慧子 マツウラ 松浦 タクヤ 拓也 マサナ 正名	カミツマ 神沼 クワコ 桑子 タクヤ 拓也 ケイコ 慧子 マツウラ 松浦 タクヤ 拓也 マサナ 正名
	午後	カムラ 中村 ユウジ 勇司					
	午前		ウチハシ 内橋 ヨシタカ 慶隆	セキモト 関本 ケンイチ (ペインクリニック外来)		ウチハシ 内橋 ヨシタカ 慶隆	

外来受付時間8時30分～11時00分 (注) 担当医変更の場合もございますので、予めご了承ください。

※眼科の月曜日診療は紹介状をお持ちの方とご予約されている方のみ受診できます。

※整形外科は初再診にかかるわらず、原則完全予約制です。

※第1・3・5水曜の循環器内科は完全予約制です。

※原則、午後は予約診察のみとなります、★印の診察については受付時間は15:00までとなります。

※(予約制)と記載がある場合は、予約患者さんのみの診察となります。

※再診予約の方については16:00まで再来受付機での受付が可能です。

※やむを得ない事情により突然の休診や診療医師変更もございます。ご了承願います。

◎予約変更について 受付時間:平日13～17時 TEL.0279-26-3010(予約専用) TEL.0279-23-1010(代表)



渋川医療センター 外来診療担当医表

(令和7年4月1日現在)

診療科	時間帯	月	火	水	木	金
消化器外科	午前	マキタ 富士雄 時田 富士雄	ヨシナリ 大介 吉成 大介	棚橋 美文 ヨシフミ ★助川 普作 スケガワ シンサク (肛門科・消化器外科) (第1,3,5週13:30~)	マキタ 富士雄 時田 富士雄	棚橋 美文 ヨシフミ
	午後		イチオカ 健 市岡 健			
	午前		榎田 泰明 エノキダ カスアキ		沼賀 有紀 コキ 術前外来	
	午後					
呼吸器外科	午前	オノザト 小野里 良一 リョウイチ (第1,3週) 川島 修 カワシマ オサム		川島 修 オサム		川島 修 カワシマ オサム
	午前			小野里 良一 リョウイチ アツミ 渥實 ジュン カワシマ オサム		小野里 良一 リョウイチ アツミ 渥實 ジュン カワシマ オサム
脳神経外科	午後			平戸 政史 ヒラト マサブミ (予約)		宮城島 孝昭 ミヤギシマ タカアキ
	午前	合田 司 コウダ ツカツ	【予約制】高橋 章夫 タカハシ アキオ オオサワ 大澤 祥(群大) ショウ ミヤギシマ 宮城島 孝昭 タカアキ	合田 司 コウダ ツカツ	【予約制】高橋 章夫 タカハシ アキオ ミヤギシマ 宮城島 孝昭 タカアキ	合田 司 コウダ ツカツ
	午後					伊部 洋子(群大) イベ ヨウコ
	午前		平戸 政史 ヒラト マサブミ		平戸 政史 ヒラト マサブミ	
	午後(予約)				平戸 政史 ヒラト マサブミ	
ニューロ モデュレーション外来	午後			★ニューロ モデュレーション外来 14:00~		
整形外科 (予約制)	午前	割田 敏朗 ワリタ テシロウ	久嶋 延昌 クシマ ノブマサ		金澤 紗恵子 カナザワ サエコ	
	午後					岡村 興一 オカムラ コウイチ 【リウマチ専門外来】
	午前				術前外来	
	午前	金澤 紗恵子 カナザワ サエコ	術前外来 10時まで	飯塚 陽一 イイヅカ ヨウイチ イイヅカ 飯塚 陽一 ヨウイチ	久嶋 延昌 クシマ ノブマサ	割田 敏朗 ワリタ テシロウ
	午後	ハンドケア				
泌尿器科	午前	田村 芳美 タムラ ヨシミ	田村 芳美 タムラ ヨシミ	森村 友紀 モリムラ ユウキ	田村 芳美 タムラ ヨシミ	綿貫 翔 ワタヌキ ショウ
	午後(予約)	田村 芳美 タムラ ヨシミ	山口 将和 ヤマグチ マサカズ		田村 芳美 タムラ ヨシミ	綿貫 翔 ワタヌキ ショウ
	午前	山口 将和 ヤマグチ マサカズ	綿貫 翔 ワタヌキ ショウ	田村 芳美 タムラ ヨシミ	山口 将和 ヤマグチ マサカズ	森村 友紀 モリムラ ユウキ
	午後(予約)	山口 将和 ヤマグチ マサカズ	綿貫 翔 ワタヌキ ショウ	田村 芳美 タムラ ヨシミ	山口 将和 ヤマグチ マサカズ	田村 芳美 タムラ ヨシミ
	午前10~12時	金山 あづさ(群大) カナヤマ				
耳鼻咽喉科	午前			岡本 彩子 オカモト アヤコ		岡本 彩子 オカモト アヤコ
皮膚科	午前	高橋 亜由美 タカハシ アユミ	高橋 亜由美 タカハシ アユミ	高橋 亜由美 タカハシ アユミ	高橋 亜由美 タカハシ アユミ	高橋 亜由美 タカハシ アユミ
	午前	高橋 芳乃 タカハシ ヨシノ	高橋 芳乃 タカハシ ヨシノ	高橋 芳乃 タカハシ ヨシノ	高橋 芳乃 タカハシ ヨシノ	高橋 芳乃 タカハシ ヨシノ
甲状腺科	午前		横江 隆夫 タカオ ヨコエ	横田 徹 ヨコタ ホタル		横江 隆夫 タカオ ヨコエ
	午後(予約)			横田 徹 ヨコタ ホタル		
乳腺科	午前	佐藤 亜矢子 サトウ アヤコ	横田 徹 ヨコタ ホタル	佐藤 亜矢子 サトウ アヤコ		横田 徹 ヨコタ ホタル
	午後(予約)		横田 徹 ヨコタ ホタル			
乳腺・甲状腺科	午前		佐藤 亜矢子 サトウ アヤコ	横江 隆夫 タカオ ヨコエ		
眼科	午前		群大医師 グンダイイシ	群大医師 グンダイイシ		
	午後(予約)					
	午前	朝鳥 洋介(群大) アサトリ ヨウスケ				
歯科口腔外科 (予約制)	午前(初診)	ネギシ 根岸 明秀 ネギシ アキヒデ	ネギシ 根岸 明秀 ネギシ アキヒデ	ネギシ 根岸 明秀 ネギシ アキヒデ	根岸 明秀 ネギシ アキヒデ	根岸 明秀 ネギシ アキヒデ
	午前(再診)	ネギシ 根岸 明秀 ネギシ アキヒデ		ネギシ 根岸 明秀 ネギシ アキヒデ	小川 将(群大) オガワ マサル (第1,3,5週)	根岸 明慧(群大) 谷口 明慧(群大) (第2,4週)

セカンドオピニオン担当医表

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター（令和7年4月1日現在）

科別	予約時間	月	火	水	木	金
呼吸器内科 (肺腫瘍)	午後3時30分～	吉井 明弘		吉井 明弘		
呼吸器外科	午前中	川島 修				
血液内科	午後2時～			斎藤 明生		入内島 裕乃
乳腺・甲状腺外科	午後2時30分～			佐藤 亜矢子		
消化器外科	午後				吉成 大介 沼賀 有紀	
放射線科	午後3時～		中村 勇司	神沼 拓也	松浦 正名	
皮膚科	午後3時～	高橋 亜由美				
泌尿器科	午後3時30分～					田村 芳美
脳神経外科	午後			宮城島 孝昭		

※対象者：原則として患者さん本人、患者さんの同意を得た家族 費用：30分毎に5,500円

※お問い合わせ先：TEL0279-23-0626 地域医療連携室(直通)

●患者さんの権利●

1. 最善の医療サービスを受ける権利
2. 人格・人権を尊重される権利
3. 知る権利
4. 自己決定権
5. プライバシーを保護される権利

がん相談支援センター

- がんに関するご相談は「がん相談支援センター」でお受けします。
担当：ソーシャルワーカー
電話：0279-23-1010（代）（受付時間は平日8:30～17:15です）
- メールによるご相談は、下記にて終日受け付けておりますが、回答は若干の日数を要する場合がございます。
E-mail:207-ShibukawaMC_mb@ mail.hosp.go.jp

看護の理念 患者さんの立場にたち、心あたたかく、信頼に応える看護を提供します

看護の基本方針

1. 患者さんの尊厳と権利を尊重し、共に考える看護を実践します
2. 患者さんの気持ちに寄り添い、思いやりとまごごろを込めた看護を実践します
3. 根拠に基づいた、安全で安楽な質の高い看護を実践します
4. 地域の人々と連携を図り、患者さんの生活の質の維持・向上に努めます



「光陰矢の如し」と言いますが、編集後記を担当して1年を迎えました。皆さまにとって価値のある情報を届けるように頑張って参りましたがいかがだったでしょうか。さて、2025年度がスタートし、106名が新たなメンバーとして加わりました。今年の春は例年に比べてより寒暖差が激しく、4月1日はあいにくの天候で少し肌寒さが残っていましたが、新メンバーの熱意でそれも吹き飛ばしてくれました。2025年度は渋川医療センターとして開設10年目を迎え、地域の皆さまが求める医療をこれまで以上にお届けできるよう新たな取り組みも進めております。これからも最新情報を「ウィズ」でお届けいたしますので、どうぞご期待ください。（T.S）

独立行政法人国立病院機構 渋川医療センター

〒377-0280群馬県渋川市白井383番地 電話0279-23-1010（代） FAX0279-23-1011
【ホームページ】https://shibukawa.hosp.go.jp